

発行：2020年8月1日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
 連絡先事務局 〒753-0221 山口市大内矢田北3丁目9-1 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
 ホームページアドレス：<http://shanti-yamaguchi.itigo.jp/>

新聞記事掲載

2020年(令和2年)6月29日 月曜日 山口新聞



タイでの活動 写真などで紹介
 シャンティ山口、美祿で
 タイ北部の山岳少数民族の支援に取り組むNPO法人「シャンティ山口」の活動報告展が、美祿市美東町赤のフォトギャラリー、写真創蔵で開かれている。7月26日まで。
 シャンティ山口は1993年に設立。タイ北部の山岳少数民族に対し、伝統文化の継承、マンゴーやコーヒーの農業指導、人材育成、森林再生、農村開発の支援、保育園での読み聞かせ指導などに取り組んでいる。

報告展は、3月に西日本国際財団からアジア貢献賞の表彰を受けたことを記念して開催。現地の2010年以降のシャンティ山口の活動を紹介する写真やパネル、現地の民族衣装などを展示している。
 佐伯昭夫事務局長(75)は「時代の変遷とともに活気づきつつある人たちの表情や行動を見ながら、シャンティ山口の取り組みを知っていただければ」と呼び掛けている。

入場無料。水、木曜は休館。問い合わせは写真創蔵(電話090・75995・9081)へ。(平岩和也)

活動報告展を開いているシャンティ山口の佐伯昭夫事務局長＝美祿市美東町赤

2020年(令和2年)7月26日(日曜日) 山口新聞



ひと物語

現地で環境を改善

タイの少数民族を支援
 佐伯 昭夫さん 75

タイ北部で暮らす山岳少数民族の生活をサポートするNPO法人「シャンティ山口」の事務局長。「シャンティ山口」の事務局長。就学しない子どもも少なくない現地の環境改善に向け、1年のうち4～8か月、タイで過ごし、法人が現地に設けた学生寮の運営や、子どもの就学支援に取り組む。

「困っている人の力になりたい」。その一心で活動してきた。山口市在住。高校卒業後、県庁に技術職員として入り、定年退職まで勤めた。約30年前、当時所属していた障害者らへの支援を行うボランティア団体の勉強会で偶然、タイで難民支援をする周南市の僧侶の話を聞いた。タイにはベトナム戦争などで難民となった人がいて、「そばにいてだけで支えになる」との話が印象に残った。

1993年に発足した「シャンティ山口」に設立当初から参加。94年から休みを使い、タイを毎年訪れ、トイレ設置や保育園への医薬品の普及などを続けてきた。「住民が毎日健康に過ごせるように、自立を支援することに汗を流したい」。タイでの活動の写真や現地の民族衣装を紹介する報告展を26日まで、美祿市の秋吉台フォトギャラリー写真創蔵で開いている。(本岡辰章)

～「地球環境保全活動」支援募金にご協力をお願いします。～